



株式会社 アイビー化粧品

第50期 BUSINESS REPORT

2024年4月1日 ~ 2024年9月30日

株主の皆様には
日頃より格別のご支援を賜り
厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 白銀 浩二



2025年3月期 中間会計期間の業績概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着きを見せ、個人消費は堅調に推移しました。一方、食料品等を中心に、生活必需品の価格高騰が続きました。

このような状況下、当社は「10万人の愛用者づくり」に取り組んでまいりました。当中間会計期間の売上高につきましては、当社主力製品「レッドパワー セラム」やレギュラー製品につきましては、好調に推移しました。一方、2024年6月に新発売しました美容補助商品「ユージェナ バイタルEX」が、当初の想定どおりの受注状況となったものの、前中間会計期間の新製品の受注額を下回り、売上高全体としては減収となりました。

利益面におきましては、売上総利益は前中間会計期間比8.1%減となり、経費削減効果があったものの、営業利益、経常利益ともに減益となりました。

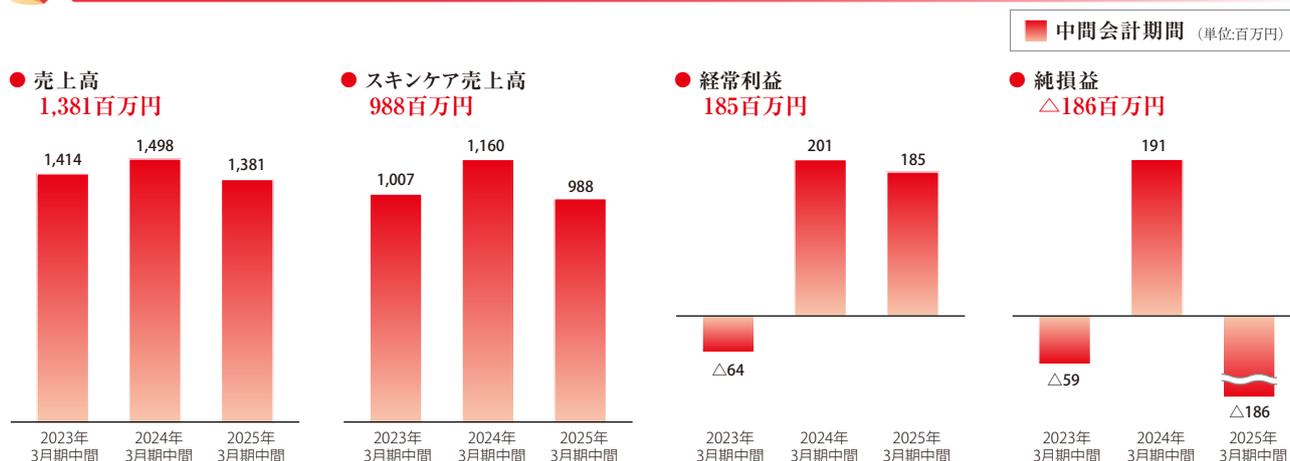
以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,381百万円（前中間会計期間比7.8%減）、営業利益189百万円（前中間会計期間比7.2%減）、経常利益185百万円（前中間会計期間比7.9%減）、特別損失を478百万円、税金費用の戻しを106百万円計上した結果、中間純損失186百万円（前中間純利益191百万円）となりました。

SDGsへの取組みについては、SDGsに関わる品質目標を掲げ、引き続き環境に配慮した資材の採用を検討するとともに、事業活動に伴うエネルギーの削減、資源の有効活用による廃棄ロスの低減などへの取組みを行いました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解と変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年12月
代表取締役社長 白銀 浩二

決算ハイライト(非連結)



当社の特許戦略について

当社は、創業者白銀あきらの「自分の命にかえても、良い製品を作り続ける。」との想いから、開発研究所を開設し、化粧品の研究に力を入れてまいりました。創業者が他界した後も、その想いを受け継ぎ、植物エキスなどを使った新規素材の探索や製剤技術の研究に邁進しております。

1990年代よりドクターズコスメが流行したり、医薬品会社の化粧品市場への参入など、化粧品業界を取り巻く環境は変化しました。当社においても、よりエビデンスを確保するために、細胞の仕組みの研究にも力を入れるようになりました。

細胞の研究を進めていく中で、医薬品分野にも応用が期待される発明も生み出しております。近年では以下に掲げる特許を取得しております。その背景には、従前から行っている化粧品の新規素材の研究の蓄積がございます。また、【Nrf2活性化剤】については、当社が地道に研究活動を重ねる中で、活性成分を化合物単位で同定することの出来る研究力をつけてきたことも特許取得の要因の一つと考えております。

【PDK1の活性化抑制剤】

特許番号	特許第6924532号
存続可能期間	2041年1月5日まで
ご参考	<p>マクロファージにおけるPDK1の過剰な活性化は、NF-κB等の転写因子を過剰に働かせ、皮膚の炎症、腫瘍の悪性化(癌)、糖尿病、心筋梗塞などを誘導することが知られています。当社では、200を超える植物エキスの中から複数段階の実験を経て、インドソケイ(プルメリア)花の抽出物に、マクロファージの過剰な活性化を抑制する効果があることを発見しました。さらにインドソケイ花抽出物の機能性を証明するために細胞内でのインドソケイ花抽出物の機能解析の実験を行い、その標的がPDK1であることを特定しました。</p> <p>◆インドソケイ(プルメリア) 学名は<i>Plumeria rubra</i>で、白色の花を咲かせる植物です。ハワイではレイやコサージュとしてよく使われます。</p>

【破骨細胞分化抑制剤】

特許番号	特許第7123434号
存続可能期間	2041年3月17日まで
ご参考	<p>骨粗鬆症や関節リウマチなどの骨代謝疾患を引き起こす骨代謝異常の一因として、破骨細胞による骨の溶解(骨吸収)と骨芽細胞による骨の再生のバランスの崩壊があります。この骨代謝異常を改善する方法として、破骨細胞の分化を抑制し、骨吸収を抑制する方法が着目されています。当社では、破骨細胞分化とその機能を抑制する成分の探索を行い、複数段階の実験を経て、クレソン抽出物にその効果があることを発見しました。</p> <p>◆クレソン 学名は<i>Nasturtium officinale</i>のアブラナ科の植物で、オランダガラシ、ミズガラシ、セイヨウゼリとも呼ばれ、香味野菜などとして食されています。</p>

【JAK阻害剤】

特許番号	特許第7023026号
存続可能期間	2041年5月18日まで
ご参考	<p>JAK(ヤヌスキナーゼ:Janus kinase)は、チロシンキナーゼの一つであり、細胞内の免疫活性化シグナル伝達に重要な役割を担い、種々の疾患の発症や増悪に関係しています。近年、医薬品分野では、JAKの酵素活性を阻害することによって疾患の発症や増悪を抑制する方法が注目されており、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、骨髄線維症、悪性リンパ腫、膵癌、乾癬、円形脱毛症、男性型脱毛症(AGA)の治療に向けた研究開発が行われています。当社では、200を超える植物エキスの中から複数段階の探索を行い、フレモコウ(ジユ)の抽出物にJAKの過剰な活性化を抑制する優れた効果性を発見することに成功しました。</p> <p>◆フレモコウ(ジユ) 学名は<i>Sanguisorba officinalis L</i>のバラ科の植物で、ジユとも呼ばれ、根や根茎を乾燥させたものは地榆(チユ)の生薬名で知られています。</p>

【JAK阻害剤】

特許番号	特許第7040833号
存続可能期間	2041年5月18日まで
ご参考	<p>JAK(ヤヌスキナーゼ:Janus kinase)は、チロシンキナーゼの一つであり、細胞内の免疫活性化シグナル伝達に重要な役割を担い、種々の疾患の発症や増悪に関係しています。近年、医薬品分野では、JAKの酵素活性を阻害することによって疾患の発症や増悪を抑制する方法が注目されており、研究開発が行われています。当社では、200を超える植物エキスの中から複数段階の探索を行い、ゲンノショウコの抽出物にJAKの過剰な活性化を抑制する優れた効果性を発見することに成功しました。</p> <p>◆ゲンノショウコ 学名は<i>Geranium thunbergii</i>のフウロソウ科の植物で、地上部が止瀉や整腸などを目的として用いられる薬草として知られています。</p>

【NF-κB/JAKデュアル阻害剤】

特許番号	特許第7455435号
存続可能期間	2043年1月6日まで
ご参考	<p>NF-κBは組織の安定化や発生に必要な遺伝子発現をコントロールする転写因子(司令塔)の一つです。その一方、過度に活性化すると、肌の老化や炎症を引き起こし、癌やリウマチなどの疾患の発症・増悪にもつながることが知られています。JAK(Janus kinase:ヤヌスキナーゼ)は、主に免疫を制御する一方、過剰な活性化は免疫性の疾患につながる為、免疫異常を伴う病気の治療的とされ、多数のJAK阻害薬が用いられています。最近では、JAK阻害薬がアトピー性皮膚炎・潰瘍性大腸炎・円形脱毛症・AGAをはじめとする様々な疾患に対しても効果があることが報告されています。当社では、NF-κBとJAKの両方の過剰な活性化を同時に抑えることを目指し、このデュアル(「ふたつ・両方」の意)阻害効果のある植物抽出物の探索を行い、オトギリソウの花と葉と茎からの抽出物にその効果があることを発見しました。</p> <p>◆オトギリソウ 学名は<i>Hypericum erectum</i>のオトギリソウ科オトギリソウ属の多年生植物で、根や根茎を乾燥したものは小連翹の名称で薬草として古くから用いられています。</p>

【Nrf2活性化剤】

特許番号	特許第7578315号
存続可能期間	2043年9月28日まで
ご参考	<p>体内における酸化ストレスに対する防御機構の一つとして、転写因子であるNrf2(NF-E2 related factor 2)が、酸化ストレスを軽減するための遺伝子の発現を増加させるなどすることで細胞を保護する役割を果たしていることが知られています。本発明は、天然由来の化合物コノフィリン、またはその薬学的に許容される塩にNrf2活性化作用があることを明らかにしたものです。</p> <p>◆コノフィリンは、キョウチクトウ科の植物に含有される成分です。</p>



会社概要

(2024年9月30日現在)

商号	株式会社 アイビー化粧品
設立	1975年12月16日
本社	東京都港区赤坂六丁目18番3号 アイビービル
TEL	03-3568-5151(代)
代表取締役社長	白銀 浩二
資本金	13億4,948万1,100円
従業員数	119名(女性:60名、男性:59名)
事業内容	化粧品(スキンケア・メイクアップ・ヘアケア・その他)、美容補助商品、化粧雑貨品等の製造及び販売



会社沿革

1975年	12月	設立
1992年	7月	埼玉県児玉郡美里町に「美里工場・開発研究所」を開設
1996年	4月	日本証券業協会に株式を公開
2001年	4月	「ISO9001」を認証取得※
2013年	1月	埼玉版ウーマノミクスプロジェクト「多様な働き方実践企業」認定制度において美里工場・開発研究所が最高ランクのプラチナ企業認定証を受賞
	7月	オレンジリボン運動支援を開始(子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動)
2015年	4月	「老化防止用皮膚外用剤」の特許を取得
2019年	8月	「添加剤」(黒ニンジンの搾汁液または粉末を含有する皮膚化粧品)の特許を取得
2020年	7月	「線維芽細胞の増殖促進剤」の特許を取得
2021年	1月	「皮膚外用剤」の特許を取得
	6月	第46回日本化粧品学会優秀論文賞受賞
	8月	「PDK1の活性化抑制剤」の特許を取得
	11月	「頭皮外用剤と、活性酸素消去作用とカルボニルタンパク生成抑制作用を制御する方法」の特許を取得
2022年	2月	「JAK阻害剤」(ワレモコウ)の特許を取得
	3月	「JAK阻害剤」(ゲンノショウコ)の特許を取得
	4月	東証スタンダード市場に株式上場
	5月	創立45周年式典を大阪にて開催
	6月	監査等委員会設置会社へ移行
	8月	「破骨細胞分化抑制剤」の特許を取得
2023年	4月	営業部門再編
	6月	洗顔シリーズ「アイビーアトラクティ」を発売 スティック状クリーム「ホワイトスティック C」を発売 リップトリートメント「リップリペアクリーム」を発売
2024年	3月	「NF-κ B/JAKデュアル阻害剤」の特許を取得
	6月	健康食品「ユーグレナ バイタルEX」発売
	10月	「Nrf2活性化剤」の特許取得

※ 化粧品及び医薬部外品の設計・開発・製造及び販売に関わる部門に限る



役員紹介

(2024年9月30日現在)

取締役会長	白銀 恵美子	社外取締役 常勤監査等委員	緒方 孝則
代表取締役社長	白銀 浩二	社外取締役 監査等委員	中山 圭史
取締役	中山 聖仁	社外取締役 監査等委員	和田 司
取締役	江川 和憲		
取締役	白銀 佳寿子		
取締役	野本 優		

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL <https://www.ivy.co.jp/index2.html>

証券コード

4918
・住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 16,000,000株
発行済株式総数 5,344,000株(普通株式)
500,000株(A種優先株式)
1単元の株式の数 100株
総株主数 4,190名(普通株式)

大株主の状況 (上位10名)

株主名(上位10名)	持株数(100株)	議決権比率(%)
(株)白銀社	6,624	12.57%
(株)ブリーズ	2,300	4.36%
アイビー化粧品取引先持株会	1,921	3.64%
安藤 英基	1,472	2.79%
白銀 恵美子	1,301	2.47%
白銀 浩二	1,262	2.39%
安藤 英雄	1,240	2.35%
アイビー共栄会	1,148	2.17%
楽天証券(株)	921	1.74%
(株)日本カストディ銀行(信託口)	828	1.57%

(注)上記のほか、自己株式が47,758株あります。
所有株式数には、A種優先株式500,000株を除き、普通株式のみ記載しております。
株式所有割合は、総株主の議決権に対する所有議決権数の割合です。

拠点案内

本社 〒107-8463 東京都港区赤坂6-18-3 アイビービル
TEL 03-3568-5151 FAX 03-3568-5168

開発研究所 〒367-0115 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣字金草1028-1
TEL 0495-76-4001 FAX 0495-76-4000

美里工場 〒367-0115 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣字金草1028-1
TEL 0495-76-4011 FAX 0495-76-4328

美里物流センター 〒367-0115 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣字金草1028-1
TEL 0495-76-4888 FAX 0495-76-4757

富士研修センター 〒401-0512 山梨県南都留郡忍野村内野字中賀背3562-4
TEL 0555-84-4511 FAX 0555-84-4515

岡山研修センター 〒700-0953 岡山県岡山市南区西市121-12
FAX 086-244-0016

関西推進部 〒567-0888 大阪府茨木市駅前3-2-2晃永ビル6F
京都 TEL 070-3116-6819 FAX 072-604-5246
大阪 TEL 070-1587-6812 FAX 072-604-5400

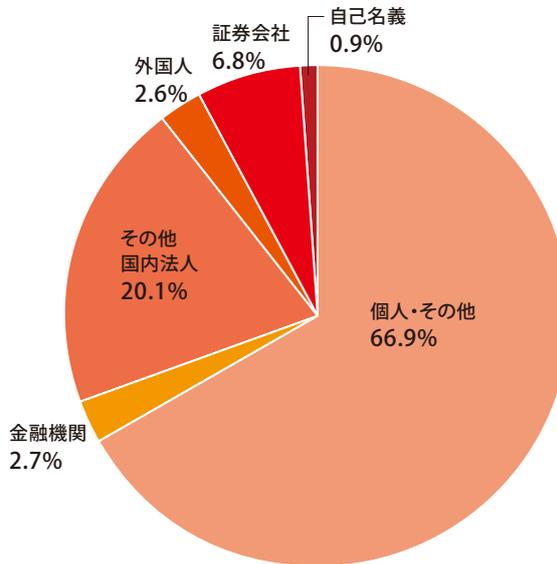
東日本営業部 〒107-8463 東京都港区赤坂6-18-3アイビービル
TEL 03-3568-5165 FAX 03-3568-5175 / 03-3568-5201

西日本営業部 〒567-0888 大阪府茨木市駅前3-2-2晃永ビル6F
TEL 070-1587-6806 FAX 072-644-0021

〒683-0801 鳥取県米子市新聞6-3-12
TEL 0859-37-2456 FAX 0859-37-2469

〒812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町2-1博多蔵本太田ビル8F
TEL 080-7397-6520 FAX 092-281-2331

所有者別株式分布状況



株式会社 アイビー化粧品

〒107-8463 東京都港区赤坂6-18-3 アイビービル
TEL 03-3568-5151(代) <https://www.ivy.co.jp>

アイビー化粧品
公式ホームページ



販売会社・販売店のご案内

